



校長室だより

校長 山崎 聡子

全校朝会

5月17日(金)、1学期の全校朝会を行いました。学校をより良くしていこうという思いをみんなにもってほしいという願いをもって、朝会を行いました。

まず、学校の中の動きの一つとして、児童運営会議(児童会・4年生以上の各クラスの児童運営委員・各委員会の委員長が集まる会議)が定期的に行われていること、連休前に行った第1回目の会議では、学校をもっといい学校にしていくために、今年度どんな児童会目標にしたらいいのか各クラスで話し合っしてほしいと投げかけがあったこと、今各クラスからの考えを集約して活動していることを伝えました。目標があることで、みんなで同じ方向を向いて進むことができ、大きな力となります。どんな目標になるか楽しみです。

次に、今年度学校が目指す目標について話しました。今年度の重点目標は、「温かな関わりを通して、みんなで成長できるように」です。仲間と温かな関係を築きながら、仲間がいたからこそ昨日とは違う自分になれたとお互いに思えること、そして自分の力を仲間のために発揮することを目指していきましょうと話しました。温かな関わり大切さを価値づけ、互恵関係の中で子供たちの成長を支えていくことを教職員が一丸となって取り組んでいくために、4月に今年度の重点目標を共有しています。様々な教育活動の中で、子供たちに働きかけていきたいと思えます。

そして、この目標にぴったりだなと思う絵本、「ええところ」(Gakken くすのき まさしげ 作・ふるしょう ようこ 絵)を紹介しま

した。この絵本は、自分にいいところが一つもないと思っているあいちゃんに、友達であるともちゃんが、あいちゃんのすてきところを見つけて伝えていくという話です。そして、自分がしてもらってうれしかったことをみんなにもしていこうという前向きな気持ちに変容していくあいちゃんの姿が描かれています。人と人との間に流れる温かさの中で生み出される安心感こそが心を動かす力になっていくことが伝わる心温まる絵本です。学校の中にも相手のことを思って行動する姿がたくさんあることを、子供たちのすてきな瞬間を捉えた写真を通して紹介していきました。

終わりに、宮澤章二さんの「行為の意味」という詩を紹介し、行為の一つとして表れる言葉を優しく、温かいものにして伝え合っみんなが温かな気持ちで過ごせるようにしていきましょうと伝え朝会を終えました。

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも 他人にも心は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか
確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それも 人に対する積極的な行為だから
あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ
(宮澤章二 著「行為の意味」ごま書房新社)